

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

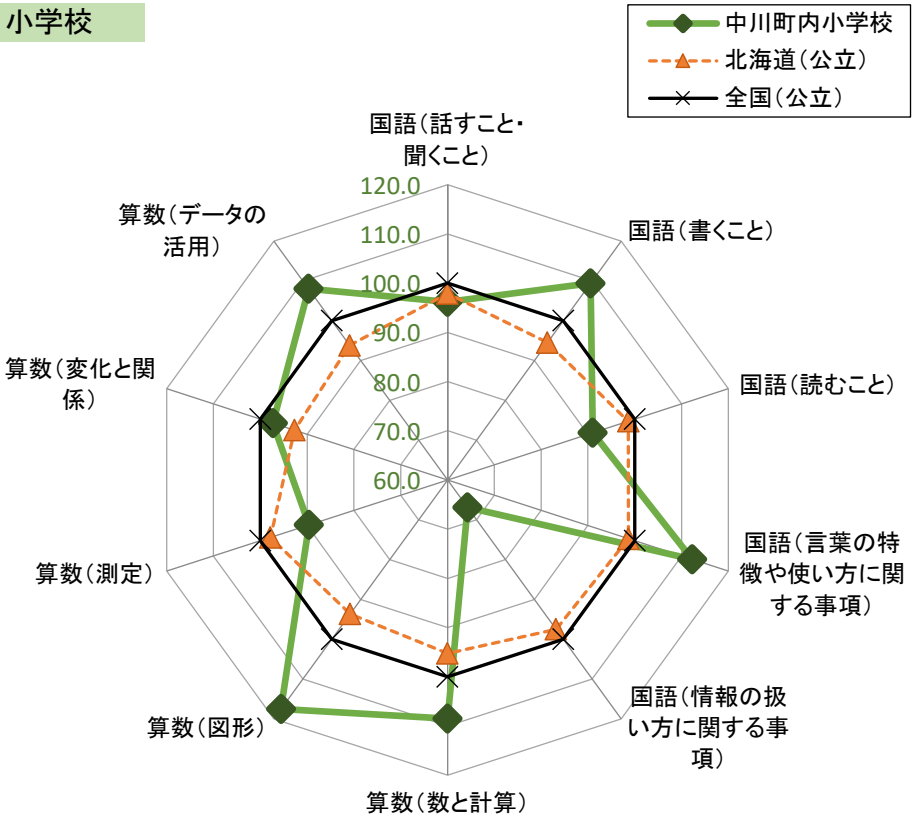
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

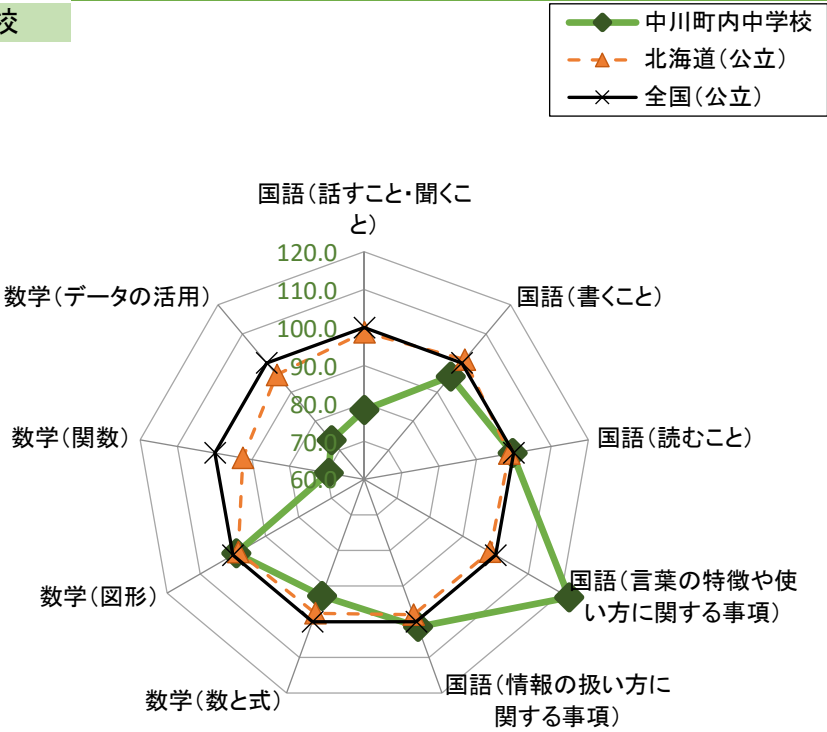
※中学校英語は4技能(聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと)の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
中川町	60	60	65	49	500
北海道(公立)	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国(公立)	60.9	56.4	63.9	57.0	499

小学校



中学校

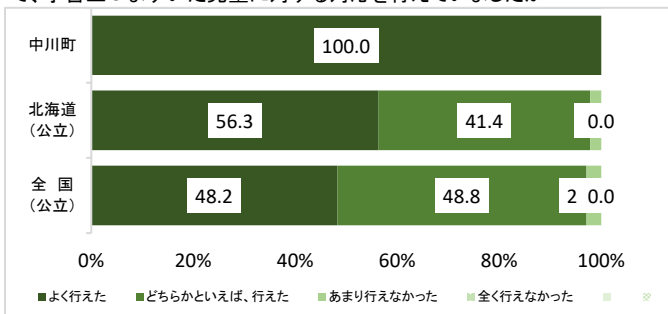


○ 質問調査の状況

小学校

<学校質問>

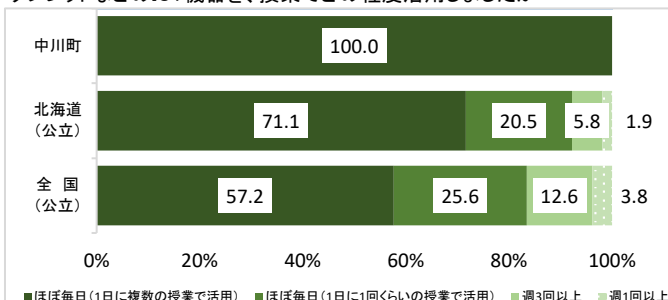
調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまづいた児童に対する対応を行っていましたか



小学校

<学校質問>

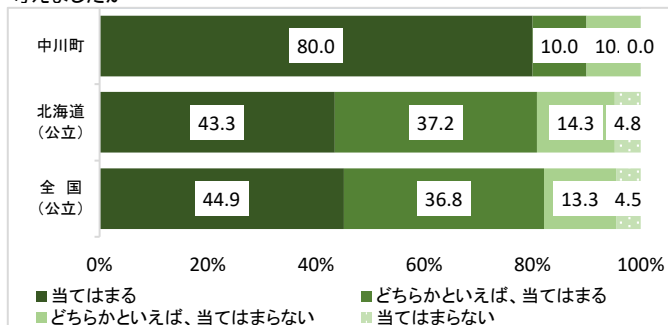
調査対象の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



小学校

<児童質問>

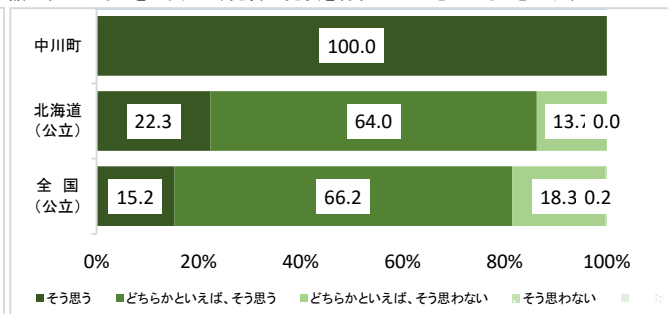
算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか



中学校

<学校質問>

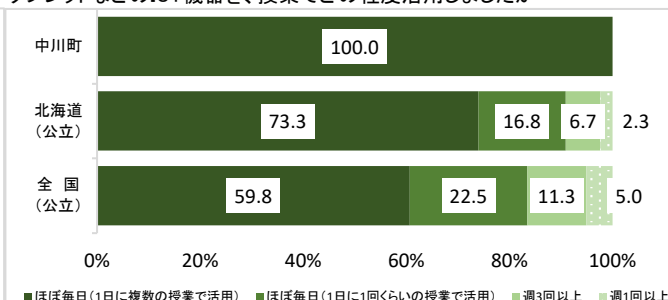
調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか



中学校

<学校質問>

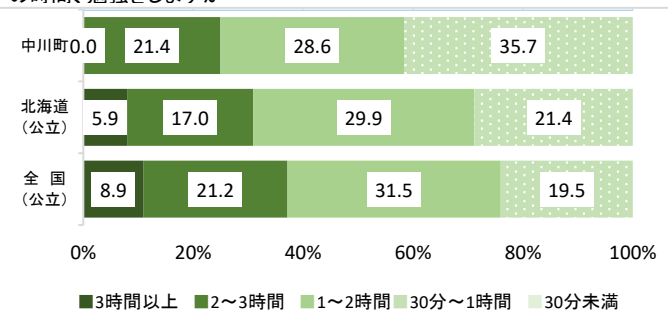
調査対象の生徒に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



中学校

<生徒質問>

学校の授業時間以外に、晋段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



○ 調査結果の分析

- 小学校において、算数の授業で学習上つまづいた児童への対応をよく行ったことにより、問題の解き方がわからないときにあきらめずにいろいろな方法を考えることができていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 中学校において、生徒自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていることから、国語の言葉の特徴や使い方に関する事項の正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 令和7年度当初から使用を開始した新しい一人一台端末により、授業におけるICT機器の活用が進み、活用割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

○ 今後の改善方策

- 学習内容の確実な定着をねらいとする、朝・放課後サポート学習における補習や追試の実施

- ボランティアを活用した放課後学習支援「なかがわ塾」による基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた取り組みの充実

- 中川町学校教育情報化検討会議を中心とした、ICT端末の効果的な活用による授業の質的向上に向けた取組の推進